

令和7年度 宮崎科学技術館 事業計画書

基本方針

宮崎科学技術館は、宮崎市制60周年記念事業として、明日を担う子どもたちに「科学する心」と「創造性」を培う場を提供するために開設された施設である。昭和62年8月の開館以来、一貫して充実した施設・設備を活用した管理運営に努めてきた。特に近年、利用者は幼児から高齢者まで幅広く、障がいのある方や外国人の利用も増えていることから、利用者の多様なニーズを踏まえた、満足度の高い管理運営に努めている。今後、更に市民から信頼されるよう、次の5つの基本方針のもと、継続的・発展的な管理運営を行っていく。

〈基本方針1〉科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図り、未来を担う子どもたちの「科学する心」と「創造性」を培うとともに、あらゆる世代に科学を楽しく体験する機会と場を提供する。

〈基本方針2〉地域の関係機関・団体・ボランティアと連携・協働し、利用者のニーズに応じた満足度の高いサービスの提供を通して地域づくりに寄与する。

〈基本方針3〉科学の普遍性と革新性を踏まえた魅力ある事業を展開するために、全職員が教育的な目的や効果を意識した事業運営を行うとともに、的確な経営感覚による施設運営を行う。

〈基本方針4〉SDGs(持続可能な開発目標)を推進するために、プラットフォームとしての機能を果たすため、各イベントの広報紙や説明用モニター、館内展示物のサインボード等にロゴを掲示することにより、宮崎市民及び来館者に対して、取組を「見える化」し、行動を推進する。

〈基本方針5〉インバウンド対策を推進するために、館内案内や展示物・掲示物等の多言語化をさらに進める。また、モバイルガイドシステム等の科学技術もうまく取り込み館内DXにて訪日外国人旅行者の利便性を更に向上させる。

事業概要

1 常設展示事業

常に展示物の安全管理と安定的稼働を念頭に置き、展示物のリニューアルも視野に入れながら、利用者が体験を通して科学の原理原則を発見・体得できるような展示配置や解説に努める。

2 教室事業

科学実験や工作、天文等各種教室を実施し、利用者の科学への興味・関心を高める(科学好きを伸ばす)とともに、来館者のニーズに対応した事業展開に努める。

3 プラネタリウム事業

全天周投射システムによる幅広い年齢層に応じた番組や小・中学校の学習番組の投映に加え、えほんの読み聞かせや各種コンサートの実施など、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムを活用した事業展開に努める。

4 イベント事業

当館の設置目的に沿った各種イベントの一層の充実を図り、科学に親しむ（科学好きを養う）機会や科学技術・自然・人間との関りを通して、環境問題・自然災害などを身近に感じてもらふ機会の創出・提供に努める。

5 人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開

小・中学校、高校、大学、企業や地域密着の運営ボランティア、教育ボランティアJSC（ジョイフル・サイエンス・クラブ）など、関係団体との更なる連携強化による一層の事業展開に努める。

6 その他

新たな宇宙事象に関すること、教育現場における新学習指導要領実施に伴うニーズに応えること等を目的とした新規事業や、多様なメディアを活用した情報提供、友の会への勧誘などを通して、施設の有効活用や利用者拡大に努める。

1 常設展示事業

来館者が、約120点の常設展示物による遊びや体験を通して、科学の不思議に気付き、体得できるように努める。また、令和3年度に作成した「授業に使える展示物～校外学習・出前講座等を充実させるガイドブック～」やワークシート等で展示解説の充実を図る。

2 教室事業

(1) 科学実験・工作教室

幼児、小・中学生を中心に、多様な入館者を対象とした科学実験や工作等の教室を実施する。

No.	教室名	対象	回数等	定員
1	チャレンジサイエンス	入館者	33回	なし
2	エンジョイサイエンス	入館者	11回	なし
3	なんでもサイエンス ※スペシャルサイエンスショー4回を含む	入館者	16回	各20名×2回
4	ダ・ヴィンチ工房	小4～中3	6回	各20人
5	自由研究サポート教室	小・中学生	約2週間	なし
6	生きがい科学館	大人	8回	各20人
7	科学技術週間工作教室	入館者	2日	各日100人
8	宮崎少年少女発明クラブ	小4～中3	20回	30人
9	コスモランド教室 ※キッズアワー（2月）3回含む	園児	13回	各240人
10	コスモランドサイエンスラボ	小学生	随時	80人以内
11	サイエンス親子学習教室	小5と保護者	2回	各16組
12	どろだんご教室	小学生～大人	2回	各50人
13	ちょこっと工作（アウトリーチ）	親子	随時	なし

(2) 天文教室

幼児から大人を対象に、プラネタリウムホールを活用した、星座の学習や星座にまつわる楽

しい神話等の解説を通して、天文に関する知識の普及を行い、興味・関心を高める。

No.	教室名	対象	回数	定員
1	星空教室	幼児～大人	9回	各80人
2	スターウォッチング教室（アウトリーチ）	団体	5回	各30～100人程度
3	中秋の名月前夜祭観望会	幼児～大人	1回	150人程度
4	皆既月食観察会	幼児～大人	1回	100人程度
5	スターウォッチング in まちなか	幼児～大人	2回	各100人程度

(3) プラネタリウム学習教室

プラネタリウムホールで、小学4、6年生、中学3年生を対象に、学校で学習する天文領域の学習を補充、深化できるような授業を行う。さらに、天文分野の学習に困難を感じている子どもたちへの理解を深める機会とし、天文に関する興味・関心を高め、知識の普及を行う。また、発達段階に応じて、月の観望会や職員による展示物トーク等も併せて計画する。

No.	教室名	対象	回数	定員
1	プラネタリウム親子学習教室①	小学4年生	2回	各240人
2	プラネタリウム親子学習教室②	小学6年生	1回	240人
3	プラネタリウム親子学習教室③	中学3年生	1回	240人

3 プラネタリウム事業

星や星座、天体現象に関する解説を行い、各種番組を充実させることで、天文・宇宙に対する認識を深めてもらうとともに、宇宙への夢とロマンを提供する。

また、全天周投映システムによる各種コンサート等の演出を工夫することで、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムホールの有効活用を図る。

(1) 番組投映

① 学習番組

対象区分	番組名
小学生	「むしむし星空大行進」(永) [小1・2] 「スタジオ444」(永) [小3・4] 「国際宇宙ステーションからの眺め」(永) [小5] 「ポワンとフーニャンの宇宙調査隊」(永) [小6]
中学生	「ゆるり星座めぐり 北極星を見つけよう！」(永) [中1・2] 「この空に願いをこめて…」(永) [中3]

② 一般番組

対象区分	番組名
ファミリー (大人向け含む)	「国際宇宙ステーションからの眺め」(永)、「ゆるり星座めぐり北極星を見つけよう！」(永)、「DARK」(永)、「宇宙への旅」(永)、「宇宙のエネルギー」(永)、「太陽」(永)、「アマテラス」(永)、「星になったチロ」(永)、「今夜、銀河の片隅で」(永)、「むしむし星空大行進」(永)、「宇宙への第一歩」(永)、「ドラえもん」(継)、「秘密結社鷹の爪」(継)、「すいきんちかもくどってんかい！」(継)、「ハクション大魔王2020」(継)

※ (永) = 永久投映権を有する番組 ※ (継) = 前年度契約の番組

③ 自主制作番組

「ひむか神話 ～太陽の女神・アマテラス～」(令和2年9月リメイク版)

(2) コンサート

コンサート名		対象	実施時期(予定)
みんなでキラキラ 星空コンサート	(第40回)	幼児～大人	5月11日(日)
	(第41回)	幼児～大人	12月7日(日)
星空と音楽の夕べ	(Part130)	中学生～大人	7月5日(土)
	(Part131)	中学生～大人	9月14日(日)

(3) その他

イベント名		内容	実施時期(予定)
星空さんぽ in プラネタリウム		一般投映とはちょっと違った趣向を凝らした大人向けの夜間投映を行う。	11月23日 (日・祝) 【1回】
キッズ ズウ ィーク	えほんの読み 聞かせ in プラ ネタリウム	ドームに絵本を大きく投映し、ボランティアの朗読とともに絵本の読み聞かせを行う。	奇数月 第2水曜 【6回】
	キッズアワー	プラネタリウムホールを明るめに設定し、幼児向けの星空解説をライブ解説と映像を合わせて行う。また、幼児向けの番組投映を行う。	6月,10月,12月,2月 第2水・土・日曜

4 イベント事業

あらゆる世代を対象に、科学に関する興味・関心を高めるイベントや、環境問題などの社会の変化に対応した身近なテーマを取り上げた各種イベントを主催や共催により行う。

(1) 主催事業

No.	イベント名	内容	実施時期(予定)
1	ゴールデンウィーク イベント (こどもの日)	鯉のぼりを正面玄関付近に設置するとともに、多くの子どもたちに科学に親しんでもらうために、サイエンスショーや工作教室等を実施する。	4月26日(土) ～5月6日(火・祝)
2	南極クラス	越冬隊の方の講話を通して、極地での生活や自然環境についての関心を高め、地球環境を学ぶ機会とする。越冬服や風速60mの実演や、実際のブリザードの動画等を通して、南極での生活に触れる機会とする。	6月29日(日)

3	【新規】 企画展「(仮称) キッズ スペースラボ (宇宙 展)」	夏休み期間中の目玉として「宇宙」 をテーマとした企画展を開催する。”宇 宙飛行士体験”をコンセプトに構成さ れた企画展を通じて、幅広い世代の年 齢層が楽しみながら体験し、学ぶ機会 とする。	7月12日(土) ～8月31日(日)
4	見てみよう！科学技 術映像祭	科学技術映像祭の入選作品を上映す ることで、科学技術について興味・関 心を高める機会とする。	7月19日(土) ～8月31日(日)
5	プログラミング体験 教室【レベルアップ】	ドローンやホワイトボード上を移動 するロボット、光線ビームを発するロ ボット等をプログラミングにより操作 できる教室で、1日の講座を2日間実 施する。	9月14日(日) ～15日(月・祝)
6	青少年のための科学 の祭典2025宮崎 大会	科学事象の不思議さや楽しさを体験 できる実験ブースを多数用意し、体験 を通して科学に対する興味・関心を高 める。	9月20日(土) ～21日(日)
7	【新規】 名月展&中秋の名月 前夜祭観望会	市民への天文・宇宙分野の普及・啓 発を目的に日本古来の「お月見文化」 に触れながら望遠鏡で月を観察する。 また、月に特化した企画展を開催し、 月に興味・関心を持ってもらう機会と する。	10月4日(土)～ 11月3日(月・祝)
8	【新規】 キッズおしごとラン ド	「展示室」「プラネタリウム」の職業体 験プログラムを作成し、小学生に体験 してもらうイベントを実施する。	10月11日(土) ～10月12日(日)
9	令和7年度 宇宙画作品展	県内の小・中学校から宇宙に関する テーマに沿った絵画を募集し、入選作 品を展示する。最優秀賞を受賞した作 品は全国の作品審査に出品する。銀賞 以上の受賞者の表彰式を行う。	11月15日(土) ～12月7日(日) 表彰式 12月7日(日)

10	プログラミング講座 「対象：小学校1，2年生」	宮崎学園短期大学との連携により、小学校低学年（1，2年生）を対象とした、プログラミング体験教室を昨年度に引き続き実施する。ビジネス科の学生を講師招聘し、スクラッチ等を使って、プログラミングの初歩を体験してもらう。	11月22日（土）
11	トワイライトミュージアム	科学実験講座「クリスマスレクチャー」に倣った特別講演を核に、職員による展示物解説を行うことで、科学の楽しさを伝える機会とする。開館時間の延長により、日中には来ることができない客層の開拓を行う。	12月20日（土）
12	【新規】 皆既月食観察会	市民への天文・宇宙分野の普及・啓発を目的に、月が地球の影に入り赤く染まる「皆既月食」を望遠鏡で観察する。	3月3日（火）
13	各種団体事業	団体：宮崎少年少女発明クラブ 小・中学生に創作活動の場を提供し、科学的な興味・関心を高めるとともに、ものづくりの喜びを体得させる。	通年 【20回】

(2) 共催事業

No.	イベント名	内 容	実施時期（予定）
1	航空教室 (航空大学校主催)	小・中学生を対象に、空を飛ぶことについての正しい知識をもってもらうことを通して、航空思想の普及啓発を図る。	5月24日（土） 2月21日（土） 【2回】
2	宮崎地区サイエンス コンクール展 (翔け！未来の科学者育成推進委員会主催)	宮崎地区（1市2町）の小・中学生の理科の自由研究に関する作品展を行うことを通して、科学技術への興味・関心を高める。	9月5日（金） ～9月12日（金） 表彰式：9月27日（土）
3	宮崎県発明くふう展 (宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎県発明協会主催)	創造力に富む人材の育成と発明の奨励を図るとともに、その実用化を促進し、科学技術に対する意識の高揚と本県工業の発展に寄与する。	10月17日（金） ～19日（日）
4	コズミックカレッジ (はまゆう会)	宇宙をテーマにした実験を通して、科学の楽しさ、不思議、感動を与える科学の芽を育む。	11月8日（土） 【未定】

5	宮崎市中学校毛筆書道展 (宮崎市中学校書写部会主催)	宮崎市の中学生による毛筆の作品を展示し、中学生や関係者の科学館利用を図る。	1月20日(火) ～25日(日)
---	-------------------------------	---------------------------------------	---------------------

5 人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開

- (1) 幼稚園・保育所等、小・中学校、高校、大学、企業との連携を通して、展示事業や各種イベント等の充実と、相互補完体制を築き、子どもたちの「科学する心」や「創造性」を育むよう努める。
- (2) 天文愛好者との連携による天文教室や天体観望会、世界最大級のプラネタリウムの積極的な活用による各種イベント及びコンサート等の開催を通して、市民の天文科学への興味・関心を高める。
- (3) J S C (ジョイフル・サイエンス・クラブ)、宮崎科学技術館運営ボランティア、宮崎大学教育研修生(チャレンジサイエンス等の支援)、宮崎学園短期大学(プログラミング講座)、宮崎ビジネス公務員専門学校ボランティア実習(インフォメーション、インストラクター業務等の支援)との連携により、来館者への案内サービスの充実に努める。

6 その他

(1) 学校連携

令和3年度に作成した小・中学校における学習指導要領と展示物を関連付けた「授業に使える展示物～校外学習・出前講座等を充実させるガイドブック～」の利活用を図るために、学校との連携を更に推進する。具体的には、市小・中学校教職員初任者研修及び理科研修において、学校連携・教育支援調整監が指導者となり、授業等で活用できる展示物の説明や実験・観察等の紹介を行う。また、宮崎市の小・中学校で活用されているクラウド型授業支援アプリ「ロイロノート」の自治体共有フォルダを活用し、当館の展示物資料等の情報を市内の小中学校に配信する。

(2) 広報の充実

ホームページやSNS投稿・SNS広告を活用し、広報の充実に努める。

(3) 売店事業の円滑な運営

来館者へのサービス向上を図るため、売店の円滑な運営・充実に努める。

(4) 他館との連携

協会が管理する他施設との連携により、イベントに合わせた天体観望会や簡易の工作教室を実施する。

(5) 地域との連携

施設の立地を生かし、周辺事業者等と協力の上で、他事業者と連携した企画を実施する。

令和7年度 宮崎市歴史資料館 事業計画書

基本方針

宮崎市歴史資料館は3館で構成されており、宮崎市生目の杜遊古館は、出土品の整理、保管、展示のほか、市民に生目古墳群や埋蔵文化財・史跡公園等を活かした体験機会を提供するため、平成21年に史跡生目古墳群に隣接して建設された。宮崎市佐土原歴史資料館は、史跡佐土原城にある鶴松館（H5年開館）と商家資料館「旧阪本家」（H13年開館）から成り、佐土原地域の歴史や文化財等の資料の収蔵・展示を行っている。また、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館は、高岡地区の桜の名所、天ヶ城公園内に平成5年に建設され、高岡地域の歴史・民俗に関する資料の収蔵・展示を行っている。

宮崎市佐土原歴史資料館と宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の開館日は限定されており、地域との連携や要望に対応するため、宮崎市生目の杜遊古館への事務管理の集約と職員相互の連携を円滑に行い、3館ともに充実した資料館の運営を目指していく。

今後とも施設内容の充実とともに、これまで培った経験を十分に活かしながら、来館者の方々が学び、心から喜んでいただける施設運営を行っていく。

そこで、「宮崎市歴史資料館3館」は、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために、以下の3つの基本方針のもと、継続的・発展的な管理運営を行っていく。

- 〈基本方針1〉 宮崎の考古、歴史、民俗等に関する調査及び研究、展示、講座などを通して、ふるさとのあゆみについての興味・関心を高め、郷土愛を育む。
- 〈基本方針2〉 地域の関係機関・団体と連携し、歴史文化の拠点施設として、地域資源の調査・研究並びに活用・発信をとおして地域づくりに寄与する。
- 〈基本方針3〉 コスト管理に基づいた効率的な施設運営をより一層推進する。

事業概要

1 展示事業

常設展示では、各館の地域の特性や歴史的背景を踏まえた展示を行い、幅広い年齢層の利用者が宮崎の考古・歴史、民俗等を正しく理解できる学習の場を提供する。

また、旧みやざき歴史文化館の収蔵資料も活用しながら時節にふさわしい企画展を各館で開催する。

2 講座・体験学習事業

各分野の専門家による歴史文化講座、古文書講座や埋蔵文化財専門職による考古学講座、学芸員による歴史体験講座を実施するとともに充実した宮崎市の歴史の啓発に努める。

体験学習については、利用者のニーズ等も加えながら、引き続き歴史・文化やモノづくり、SDGsの趣旨を踏まえた体験など広く学べる内容とする。

3 イベント事業

遊古館デイキャンプなど季節や地域の伝統を取り入れ、利用者ニーズを踏まえたイベントを実施する。

4 授業支援・出前講座事業

各学校に出向き、収蔵する昔の道具を活用した小学校社会科の授業の支援、地区交流センターでの勾玉づくり体験などの出前講座及び回想法の趣旨を踏まえた資料の貸し出しなど年間を通じて実施する。

5 その他

ホームページやSNS等を活用した情報発信、年報・研究紀要による各種事業の普及広報活動の充実を図りながら小学校等各種団体への積極的な利用案内活動に取り組み、施設の周知と来館者増につなげる。

【宮崎市生目の杜遊古館】

1 展示事業

(1) 常設展示

宮崎の神話・考古・歴史に関する資料を展示し、見て、触れて、楽しく学びながら、歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

宮崎の歴史・文化に関連する資料を収集、調査研究し、企画展示室を利用して展示する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	【新規】 企画展① 「絵・画・図！-『え』にまつ わる資料展-」	広告デザイン・浮世絵・錦絵・軸 物・図会・玩具絵など、『絵・画・ 図』にまつわる歴史・民俗資料の展 示を通して、その歴史や内容を解説 する。	10/18（土） ～12/7（日）
2	【新規】 企画展②「武士の日常」	江戸時代の佐土原藩や高岡の武士た ちの生活ぶりを武術書・藩校の日誌 などの文字史料により紹介する。	1/24（土） ～3/8（日）

2 講座事業

No.	講 座 名	内 容	回数	定 員
1	古文書講座 (中級)	古文書解読を学ぶ中級者向けの講座を連続し て開催し、古文書への理解を深める。	全5回	各30名
2	歴史文化講座	市史編さん委員など様々な分野で専門的な知 見を持つ講師を招き、宮崎の歴史や文化財、 日本文化等に関する講座を開催する。	10回	各70名
3	みんなの考古学 講座	埋蔵文化財の保護・活用に興味関心を持って いただくため、市専門職による最新の調査の 成果を解説する講座を開催する。	5回	各70名
4	大人も子どももわ くわく！学芸員講 座	学芸員による歴史にまつわるものの工作体験 と歴史の一端を学ぶ講座を開催する。	4回	各20名

3 体験学習事業

昔の人々の暮らしや教え伝えられてきた文化について団体や個人・家族連れなど様々な利用者が楽しんで体験する場を提供し、伝統文化への理解や継承の大切さを知ってもらう。

特に、創作活動等の体験学習を通じて歴史文化に興味を持つ子どもたち、いわゆる「歴史キッズ」の育成につながるよう魅力ある体験活動プログラムを重点的に提供する。

No.	体験講座名	内 容	回数	対象・定員	実施時期
1	「レッツ！タイム ワープ in 遊古館」 ～発見!!昔の人は こんなにすごかつ た!～	歴史・民俗など、昔の 人々が辿った生き方を SDGs の理念に沿って体 験しながら学ぶ。	全 5回	宮崎市・国富町・綾 町の小学校 4 年生～6 年生 30 名	6 月～2 月

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	実施時期
1	革で作る素敵なコ ースター	革に模様を刻印・着色 し、オリジナルコース ターを作る。	1回	子ども(小学3年生以 上)・一般 15 組	6 月
2	いいね! おしゃれな勾玉	好みの色に染色した勾 玉づくりをする。	1回	子ども(小学生以 上)20名	6 月
3	体験!古代の編布 (アンギン)	古代の織り方でコース ターを作る。	1回	子ども(小学3年生以 上)・一般 20 名	7 月
4	はにわ作りって楽 しいな!	粘土を使って古代の埴 輪を作る。	1回	子ども(小学3年生以 上) 15 名	8 月
5	いにしえの鏡に感 激!	合金を使って古代の 鏡を作る。	1回	子ども(小学生以上) ・一般 10 組	8 月
6	色が奏でる組み紐 作り	伝統工芸の組み紐を作 り日本の美に触れる。	1回	子ども(小学3年生以 上)・一般 30 名	9 月
7	からくりおもちゃ って不思議!?	古来のからくりおもち ゃを作って遊ぶ。	1回	子ども(小学3年生以 上)15名	9 月
8	藍染ってエレガン ス!	藍染液を使ってハンカ チを染める。	1回	一般 30 名	10 月
9	作って遊ぼう! 竹のけん玉	竹でけん玉を手作りし 遊ぶ。	1回	子ども(小学生以上) 15名	10 月
10	アウトドアで古代 体験!	史跡公園ウォークラリ ーと火おこしなどのア ウトドア体験をする。	1回	子ども(小学3年生以 上)10組	11 月
11	クリスマスリース はいかが?	自然の素材(蔦・まつ ぼっくり等)を使って リースを作る。	1回	子ども(5歳以上)・一 般 30 名	11 月
12	古代米の餅をペッ タン!	古代米をついて餅を作 る。	1回	子ども(5歳以上)30 名	12 月
13	ミニ門松でお正月 飾り	正月に飾られるミニ門 松を作る。	1回	子ども(5歳以上)・一 般 15 組	12 月
14	石臼きな粉でおい しい古代米団子	石臼で挽いたきな粉で 古代米の団子を作る。	1回	子ども(5歳以上)6組	1 月

15	マイ竹馬で遊びましょ！	昔ながらの遊び道具の竹馬を作って遊ぶ。	1回	子ども(小学3年生以上)15組	1月
16	作ってみよう！竹のマイ箸	自然素材の竹で箸を作る。	1回	子ども(小学3年生以上)15名	2月
17	かまどでおいしい古代パン	ダッチオーブンを使って古代米を使ったパンを作る。	1回	子ども(小学3年生以上)8組	2月
18	草木で染め出す和の色合い	草木染めでエコバッグを染める。	1回	子ども(小学生以上)・一般14組	3月

No.	体験学習名	内 容	対象・定員	実施時期
1	古代体験プログラム(個人)	当日申込で勾玉・はにわづくりが楽しめる。	子ども(5歳以上)と保護者・一般 ※定員20人/回	土・日・祝日 夏休み(8/13~15) ※1日最大3回実施

4 イベント事業

イベント名	内 容	実施時期
ちょっと早いけど、こどもの日特別企画「遊古館でこどもチャレンジ」	こどもの日を祝し、こどもたちが昔ながらの遊びや工作で館内を巡り歴史文化に親しむ。	5月3日(土・祝)
遊古館デイキャンプ	自然環境豊かな遊古館で、火おこしなどの古代体験や炊飯体験を行い、日没後に大淀川学習館の協力のもと生き物採集などを行う。	7月他
宮崎市歴史資料館3館スタンプラリー	歴史3館を巡り、周辺の歴史・民俗・名産品等について紹介するスタンプラリーを実施する。	2月~3月
生目古墳群活用応援事業「生目の杜遊古館 de 歴史遊び」	史跡公園で実施される市主催「生目古墳群 de ピクニック」を共催し、館の事業紹介を兼ねた館内クイズラリー、勾玉づくり等を行い館の魅力をPRする。	11月15日(土)

5 授業支援・出前講座事業

総合的な学習の時間及び遠足等を活用した施設利用により来館した小学校に対し、授業の支援を行う。また、地域での要望に応じて歴史講座や竹細工作りなどの出前講座を年間通じて実施する。

6 その他

(1) 資料収集・調査研究

歴史資料や文化財の写真収集・調査研究を行い、資料の充実を図る。

(2) 資料の保存・保管

日常的に虫菌害対策を行うほか、展示室の24時間の温湿度管理を行い、記録データを常に監視しながら歴史資料の展示、保存に適した環境作りに努める。併せて、保存先の集約化について市文化財課と連携して進める。

- (3) 郷土の歴史や資料に関するレファレンス対応
宮崎市広域圏の歴史や資料に関する県内外からの相談を受け、専門性をもって適切に対応する。
- (4) 他館との連携
協会の各館事業と積極的な連携・協力を図るとともに、歴史3館での横断的かつ効果的な業務の推進を図る。
- (5) 年報・研究紀要の発行
宮崎市生目の杜遊古館・宮崎市佐土原歴史資料館・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の令和6年度事業概要及び調査研究成果をまとめた「宮崎市歴史資料館年報及び研究紀要」を発行する。
- (6) 広報の充実及び入館者増対策
館の行事案内やホームページやSNS、市広報などを有効活用するとともに、小学校、教育・保育施設、高齢者団体、福祉施設等団体への積極的な利用案内活動に取り組み、施設の周知と来館者増につなげる。
また、各展示資料等の解説シートの充実を図り、日向神話かるたの販売促進をしながら館の魅力発信に努める。

【宮崎市佐土原歴史資料館】

1 展示事業

(1) 常設展示

佐土原地域の考古・歴史（特に佐土原藩の歴史）、民俗に関する資料を展示し、地元ボランティア団体のガイド協力を得ながら楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

佐土原地域の歴史・文化・民俗に関連する資料を収集・借用し、鶴松館を利用して展示する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	【新規】 企画展 「佐土原の昭和を振り返る～昭和100年によせて～」	昭和100年の節目に昭和時代の佐土原の歴史・民俗文化にスポットを当て、あのころの佐土原を紹介、解説する。	10/25（土） ～12/14（日）

2 体験学習事業

昔の人々の暮らしと関連した製作体験学習等を親子や一般参加者を対象に実施する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	実施時期
1	お城で茶道体験	鶴松館で茶道の指導者のもと、日本伝統の茶道を体験する。	1回	子ども（小学生以上）・一般 20名	5月
2	お城で生け花体験	鶴松館で生け花の指導者のもと、伝統的な生け花を体験する。	1回	子ども（小学生以上）・一般 20名	6月

3	お城で体験！「香り」	昔から親しまれてきた香りや衣の色味などを学ぶ	1回	子ども（小学生以上）・一般 20名	9月
4	チャレンジ77 佐土原旧跡めぐり	佐土原地域の旧跡 77カ所を紹介するマップを用いてゲームなどを行いながら徒歩やバスにより散策する。	3回	子ども（小学5年生以上）・一般 25人～30人	①10月 ②1月 ③2月
5	お城で寄せ植え体験	鶴松館で日本古来の寄せ植えを体験する。	1回	子ども（小学生以上）・一般 20名	11月

3 イベント事業

イベント名	内 容	実施時期
佐土原花しょうぶ祭り (共催事業)	鶴松館に隣接する花しょうぶ園の開花時期の祭りに合わせ、花しょうぶ観賞のためのイベントを実施する。	6月
お城でコンサート	夜の鶴松館で、古の雰囲気を感じながら演奏を聴くことのできるコンサートを開催する。	10月

4 学習支援（施設見学・出前講座）

展示物や資料を活用した授業支援として、総合的な学習の時間及び社会科等について各学校の要望に沿いながら、展示案内や出前講座を実施する。

また、要望に応じ小学校教師向けに佐土原の歴史講座を開催する。

5 その他

（1）資料収集・調査研究

古文書史料や文化財等の収集・調査研究を行い資料の充実を図る。

（2）資料の保存・保管

日常的に虫菌害対策を行うとともに、必要に応じた薬剤噴霧を実施し、歴史資料に適した環境作りに努める。併せて、保存先の集約化について市文化財課と連携して進める。

（3）郷土の歴史や資料に関するレファレンス対応

宮崎市広域圏の歴史や資料に関する県内外からの相談を受け、専門性をもって適切に対応する。

（4）広報の充実

ホームページやSNSを有効活用し、また、地域づくり協議会等とも連携をとり広報等に努め来館者増を図る。

（5）他館との連携

協会の各館事業と積極的な連携・協力を図るとともに、歴史3館での横断的かつ効果的な業務の推進を図る。

【宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館】

1 展示事業

(1) 常設展示

高岡地区の考古・歴史、民俗に関する資料を展示し、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

高岡地区の歴史・文化に関連する資料を収集、展示する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	【新規】 企画展 「高岡今昔写真帖」	高岡町域の往時から現在までの町の変遷を白黒・カラー写真パネルを中心に印画紙の展示などで紹介する。	3/15 (日) ～4/14 (火)

2 体験学習事業

昔から行われてきた人々の暮らしと関連した製作体験や歴史・美術等の体験学習を親子対象に実施する。(一部一般も対象)

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	実施時期
1	かぶとづくり	段ボール、組紐等を利用して、兜を作る。	1回	子ども(小学生以上) 6組	5月
2	竹で万華鏡づくり	ビーズやセロファン等を利用して竹の万華鏡を作る。	1回	子ども(5歳以上) 8名	6月
3	弓矢づくり	竹で弓矢を作り、的当て遊びをする。	2回	子ども(小学生以上) 各10名	①7月 ②9月
4	夏休みの図画作品にチャレンジ! 「色・模様あそび」	スタンプングや吹き流し等の偶然性を体験し、組み合わせで一作品にする。	1回	子ども(小学1年生～小学4年生) 8名	8月
5	水鉄砲づくり	竹で水鉄砲を作り、風船の的当て遊びをする。	2回	子ども(小学生以上) 各10名	8月
6	凧づくり	専門家の指導により和凧を作り、凧揚げをする。	1回	子ども(小学4年生以上) 10名	11月
7	天ヶ城でミニ門松づくり	正月にあわせて玄関を飾るミニ門松を作る。	1回	子ども(5歳以上)・一般10組	12月
8	二見家住宅でかまど炊飯体験	「二見家住宅」を利用して、昔ながらのかまど炊飯を体験する。	1回	子ども(小学3年生以上) 20名	2月

3 イベント事業

イベント名	内 容	期 日
高岡歴史かるたで遊ぼう	かるた遊びを通して地元高岡の歴史を学び、郷土愛につなげるとともに、子どもたちの参画を得ながら地元まちづくり団体とかるた大会を共催する。	① 7月 ② 10月 ③ 11月(大会)
高岡麓のまちなみを歩こう	歴史的な建造物や文化財がある高岡町内の麓地区のまちなみを地元ボランティアの案内により散策する。	5月

4 授業支援事業

施設に収蔵している昔の道具を活用し、小学校の社会科における「市のようすとくらしのうつりかわり」の授業支援として各学校に出向き、学習の充実に資する。また、総合的な学習の時間及び遠足等を活用した施設利用により来館した小学校に対し、授業の支援を行う。

5 その他

(1) 資料収集・調査研究

古文書史料や文化財の写真収集・調査研究を行い、資料の充実を図る。

(2) 資料の保存・保管

日常的に虫菌害対策を行うとともに、必要に応じた薬剤噴霧を実施し、歴史資料に適した環境作りに努める。併せて、保存先の集約化について市文化財課と連携して進める。

(3) 郷土の歴史や資料に関するレファレンス対応

宮崎市広域圏の歴史や資料に関する県内外からの相談を受け、専門性をもって適切に対応する。

(4) 広報の充実

ホームページやSNSを有効活用し、来館者増に努める。

(5) 他館との連携

協会の各館事業と積極的な連携・協力を図るとともに、歴史3館での横断的かつ効果的な業務の推進を図る。

令和7年度 大淀川学習館 事業計画書

基本方針

大淀川学習館は、宮崎市制70周年記念事業として、次世代を担う子どもたちに、「自然を大切に作る心」と「郷土愛」を育むために開設された施設であり、平成7年3月の開館以来、施設・設備の特性を最大限に活かす管理運営に努めてきた。

特に近年は、乳幼児や小学校低学年による低年齢層の利用が最も多い一方で、障がいのある方や高齢の方による利用も増えていることから、利用者の多様なニーズを踏まえた、満足度の高い管理運営が一層求められている。

今後も、より多くの方々に愛され、活用される施設となるよう、以下の3つの基本方針のもと、継続的・発展的な管理運営を行う。

〈基本方針1〉 身近な素材を見て・触れて・体験しながら、次世代を担う子どもたちを中心に、全ての世代が「自然を大切に作る心」と「郷土愛」を育むため、楽しく学ぶ機会を提供する。

〈基本方針2〉 関係する機関や団体と連携・協働し、広く市民に開かれた施設として、生涯学習、郷土学習、環境学習の場として、地域づくりに寄与する。

〈基本方針3〉 主に自然を扱った地域密着型の魅力ある事業を展開するため、職員が創意工夫を凝らし、教育的効果と費用対効果のバランスがとれた施設運営を行う。

事業概要

1 常設展示事業

「大淀川観察ステーション」では、企画展や季節に合わせた生体や標本等を展示し、「自然楽習園(チョウのへや)」等を活用して、飼育・採捕生体の展示を行う。また、「里山の楽校」等では、自然環境を再現した展示スペースと学習フィールドとしての二面性をもたせる維持管理を行う。さらに、月間スケジュールにより、「川のシアター」等の展示解説を実施する。

2 企画展・作品展示事業

自然環境及び生物に関することを中心に、当館の設立趣旨を具現化する7つの企画展を行う。また、「大淀川流域の動植物画コンクール」を開催し、応募作品の展示を行うとともに、「愛鳥週間」等の外部コンクールの作品展示も行う。

3 学校教育・生涯学習支援事業

小・中学校や学童保育施設、自治会等の要請に応じて、出前講座や見学プログラム等による支援を行う。また、就学前教育を支援する一環として計20回の園児教室を実施する。さらに、学校教育に対しては、授業力向上講座の開催や資料の貸出等による指導者支援も行う。

4 教室・イベント事業

「水辺の教室」「里山の教室」の2分野に分けて講座を開設する。また、工作を中心とした定期イベント「わくわく工作」と、講演会を含む6つの「季節のイベント」を開催する。

5 広報事業

ポスターやチラシ、ホームページ、FacebookやInstagram等のSNSを活用して、生体情報の発信や各種事業の宣伝等を行う。また、広報誌やマスメディア等への情報提供も行う。

6 自主事業

飲食等に対する来館者のニーズに応えるため、3つの自主事業を行う。

7 その他

SDGsの普及、啓発のため、SDGs(環境)教育を積極的に行う。

1 常設展示事業

(1) 生体等の展示

大淀川流域の多様で豊かな自然環境についての理解を促すため、大淀川流域に生息する昆虫や水生生物等の生体展示を行う。加えて、職員の専門性向上に努め、展示生体の多様性を維持する。

No.	展示スペース	内 容
1	大淀川 観察ステーション	観察ステーションを中心に、来館者が常に新鮮な気持ちで館内見学を行うため、企画展や季節に応じて定期的な展示の入れ替えや装飾を行う。また、来館者が気持ちよく見学をすることができるように、機器のメンテナンスや施設内の壁面等を活用した解説の充実に努める。さらに、学校教育への支援の一環として、学習指導要領との関連を踏まえた展示の工夫を行う。
2	自然楽習園 (チョウのへや)	チョウの生態や特徴について、来館者が興味をもったり、知識を深めたりするため、主として学習館周辺を生息域とするチョウを、外気温に合わせた自然に近い状態で放蝶している。四季に応じたチョウの生態を観察することができる国内でも稀有な施設として、維持管理に努める。また、学校教育支援の一環として行う「チョウの見学プログラム」のフィールドとしても活用する。
3	生体展示ホール (サカナのへや)	大淀川流域の水生生物に対して、来館者が興味をもったり、知識を深めたりするために、大型水槽では、大淀川水系に生息する淡水魚を上流域、中流域、河口域ごとに展示し、円型水槽では、大淀川が流れ込む日向灘に生息している水生生物を展示している。小型水槽では、小型の淡水魚やカメなどを、個別に観察しやすいように展示している。また、絶滅危惧種アカメの飼育技術確立を進めている。
4	ホテル展示室 (ホテルのへや)	来館者が、環境保全のシンボリック的存在であるゲンジボタルの生態に興味をもち、環境保全に対する意識を啓発するために、ビオトープ水槽等を活用して、季節に応じたホテルの幼虫や蛹、成虫の展示を行い、飼育技術について研究・改善を進めている。

(2) 自然環境を再現した展示 (学習フィールド)

生き物が生息する環境への理解促進と興味喚起のため、本館周辺の施設を維持管理し、活用を図る。

No.	学習フィールド名	内 容
1	里山の楽校 (杉の家)	大淀川流域の自然や文化を育んできた里山を再現した学習フィールド「里山の楽校」の維持管理に努め、体験学習のフィールドや展示生体のための昆虫・植物採集の場として活用する。また、付設の「杉の家」では、固定望遠鏡や地形を観察できる模型の設置、里山の動植物に関する展示等を行う。
2	大淀川 水辺の楽校	親水公園としての機能ももつ「大淀川水辺の楽校」については、所管の市公園緑地課や国土交通省宮崎河川国道事務所と連携・情報交換を行いながら、活用、維持管理に努め、利用者が水辺の環境に親しむ場を提供する。また、体験学習のフィールドや展示する昆虫、植物採集の場としても活用する。

(3) 展示解説

見て・触れて・体験しながら、自然環境に対する興味・関心を高めたり、知的好奇心を満たしたりすることができるように、大淀川流域の自然や文化、歴史等についての展示を解説する。加えて、既設の設備や職員の専門性をいかした効果的な展示解説を工夫する。

No.	展示名	内 容		実施時期
1	川のシアター	一般上映	平日・土日祝日共通して1日3回、定時に大淀川流域の自然に関するオリジナルの3Dハイビジョン番組の上映を行う。	通年
		団体上映	利用団体の学習ニーズに応じて、団体代表者と相談して番組を選択し、特別に上映する。(前日までに要予約)	随時
2	ミニ講座	来館者が知的好奇心を満たすことができるように、企画展の内容や季節に応じた動植物について、職員の専門性をいかした解説を行う。		通年
3	さかなたちの食事タイム	来館者が河川の特徴や魚の生態に関する興味や関心を高めるために、大型水槽の魚が餌を食べる様子を紹介する。命のある生き物を観察していることを実感できるように季節や魚の体調に応じた解説に努める。		通年 【週2回】
4	いきものとのふれあい&よみきかせ(絵本の読み聞かせ音楽会)	幼い子どもが生き物と出会い、自然環境に興味・関心を抱くきっかけをつくるため、図書室にある絵本を読み聞かせし、絵本と関連した生き物を見たり、触れたりする体験活動を取り入れた解説を行う。(また、音楽を取り入れた読み聞かせを不定期で開催する。)		通年 【月1回】

2 企画展・作品展示事業

(1) 企画展

大淀川流域の自然環境や歴史、文化について、興味・関心を高めるため、当館の基本方針に沿った企画展を開催する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	「つかまえて、育てみよう！身近な生き物展」	来館者が身近な生き物と触れ合うよさを感じたり、生き物の採集や飼育方法について学んだりする。自然や環境保全活動についても考えるきっかけにするため、生体展示とあわせて解説パネルの展示を行う。	4月22日(火) ～ 6月1日(日)
2	「カラー魚拓への誘い」	魚の特徴について関心をもち、自然がもたらす造形美を実感するために、館内各所へカラー魚拓の展示を行う。	6月10日(火) ～ 7月6日(日)
3	「森の生き物と仲良くなるろう！カブトムシ・クワガタムシ展」	子どもたちが昆虫に興味を抱き、自然科学を学ぶきっかけをつくる。教育的要素を盛り込み、大淀川流域に生息する国内種と外国種を比べることができるように、生体や標本の展示を行う。	7月19日(土) ～ 8月24日(日)

4	「よく見てみよう！ ちよっぴりこわい生き物&うんち展」	生命の存在価値や命の尊さについて考えるきっかけとするため、一般的に嫌悪されたり、怖がられたりする生物や排泄物の展示、解説パネル展示を行う。	9月13日(土) ～ 10月26日(日)
5	「身近な生き物と環境展」	飼育できる身近な生き物(金魚・メダカ・カメ)を紹介することで生態系への理解を促進する。また、昆虫食や廃材水槽を展示、解説することでSDGsや自然環境保護への啓発を行う。	11月1日(土) ～ 12月7日(日)
6	「変身しよう！みんなの生き物アート展」	乳幼児期から親子で自然に親しむきっかけをつくることや、SNSの普及によるフォトスポットの需要が高まっていることを受け、自然を感じつつ、写真撮影を通して文化活動にも触れることができる機会を提供する。	1月4日(日) ～ 1月25日(日)
7	【新規】 「発見、虫のしわざ！昆虫写真展」	昆虫の生態の不思議や面白さに関心をもつきっかけとするため、昆虫写真家の新開孝氏が撮影した昆虫の活動の痕跡の写真約50点を展示する。	2月7日(土) ～ 4月5日(日)

(2) 作品展示

大淀川流域の豊かな自然を再認識する中で、郷土に対する愛情を育み、市民が文化的活動に勤しむ機会を提供するために、作品展を主催する。また、県や市が主催するコンクールの入賞作品展についての展示依頼は、館の事業を鑑み、可能な範囲で受け入れる。

No.	作品展名	内 容	実施時期
1	作品展 「第31回大淀川流域の動植物画コンクール」	動植物を観察する視点を育み、観察フィールドで直に自然と触れ合う機会をつくるため、大淀川流域に生息する動植物の絵画を募集し、入賞作品を展示する。	10月1日(水) ～ 10月26日(日)

3 学校教育・生涯学習支援事業

(1) 出前講座・見学プログラム

幼稚園や保育所、小・中学校や学童保育、自治会等からの要請に応じて、出前講座や見学プログラムを設定する。講座やプログラムの内容は、下記の主な見学プログラム以外に、事前打合せによって内容を設定する。

No.	主な見学プログラム名	内 容
1	チョウの見学プログラム (実験工作室・自然楽習園)	小学校3年生「理科」の学習内容に基づき、職員による解説と、自然楽習園における生体観察を行う。
2	地層の見学プログラム (里山の楽校)	小学校6年生「理科」の学習内容に基づき、職員による解説と、露頭(地層)の見学や実験装置を用いた堆積実験等を行う。

(2) 園児教室

宮崎市及び国富町、綾町の幼稚園や保育所等の園児を対象に、動植物の観察やふれあい体験、工作活動を通して生き物に対する興味・関心を高める。

(11月～2月の期間に20回開催する。)

(3) 指導者支援

学校におけるチョウやメダカといった生き物の具体的な指導方法や教材の準備の仕方等について、小学校の指導者へ、当館職員の経験と専門性をいかした支援を行う。また、必要に応じて生体の提供も行う。

No.	講座名	内 容	定員	実施時期
1	授業力向上 チョウ講座 (実験・工作室)	チョウの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	各15人	4月17日(木) 4月24日(木)
2	授業力向上 メダカ講座 (実験・工作室)	メダカの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	15人	5月16日(金)

(4) その他の支援

キャリア教育を支援する一環として、中等教育における職場体験学習や、高等教育におけるインターンシップ、博物館実習等も積極的に受け入れる。さらに、行政機関における環境部局等から要請があった際には、共催企画を積極的に受け入れる。

4 教室・イベント事業

(1) 水辺の教室

大淀川流域の水質や水生生物など水辺の環境について興味をもち、自然環境保護に対する理解を促すため、観察・実験や体験活動を伴う講習会を行う。

No.	教室名 (開催場所)	内 容	定員	実施時期
1	水の生き物のすむ環境をつくってみよう！ (実験・工作室)	生き物のすむ環境をつくり、自然下での各生体の役割や、環境を維持するための方法について理解する。	5組	5月4日 (日・祝)
2	ホタル環境教室 (実験・工作室)	実際にゲンジボタルの成虫を観察することを通して、ホタルの生態を理解する。	10組	5月10日(土)
3	川の生き物で水質を調べよう！ 「春2回・夏1回・秋1回」 (水辺の楽校及び実験・工作室)	水生生物を指標とする水質調査を通して、大淀川の水質に対する理解と自然環境保護への意識を深める。	各5組	5月18日(日) 5月25日(日) 7月13日(日) 10月5日(日)
4	メダカの飼育・観察教室 (実験・工作室)	メダカの飼育の仕方を学習し、生体の観察を通して、身近な魚への興味・関心を高める。	各10組	5月24日(土) 5月31日(土) 9月14日(日)
5	カラー魚拓を制作しよう！ (実験・工作室)	カラー魚拓を制作することを通して、魚の体のつくりなどを観察し、大淀川にすむ魚に親しむ。	7人	6月29日(日)
6	自由研究にぴったり！ 浄水場(下水処理場)見学会 (市上下水道局施設)	市上下水道局と連携し、関連施設を見学することを通して、水と水環境の大切さを理解する。	20組	7月24日(木)
7	水を浄化してみよう！ (実験・工作室)	簡易ペットボトルろ過器の作成を通して、水の浄化方法や水環境の大切さについて知る。	各8組	8月9日(土) 8月10日(日)

(2) 里山の教室

大淀川流域に生息する動植物や生息環境、自然の恩恵について興味をもち、理解を促すため、採集や観察、体験活動を伴う講習会を行う。

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
1	目指せ！ムシはかせ （水辺・里山の楽校） （7回の内、5回は夜間）	水辺の楽校や里山の楽校においてライトトラップ等により採集した昆虫の同定作業を通して、昆虫採集や飼育、観察への興味・関心を高める。なお、第1回はミツバチに特化した教室を行う。	各5組	4月27日（日） 5月24日（土） 6月14日（土） 7月19日（土） 8月23日（土） 9月13日（土） 3月8日（日）
2	チョウが集まる植物を植えよう！ （杉の家、第1・第2食草園）	自然楽習園に植栽する食草・蜜源植物の植え付けを体験し、昆虫の生態について理解する。	各5組	6月1日（日） 3月14日（土）
3	カブトムシの幼虫を育てよう！ （実験・工作室）	カブトムシの幼虫の飼育方法を学習し、その生態を観察することを通して、昆虫飼育への興味・関心を高める。	10組	3月15日（日）
4	初めてのカブトムシ・クワガタムシ飼育教室 （実験・工作室）	カブトムシやクワガタムシの飼育の仕方を学習し、その生態を観察することを通して、身近な昆虫への興味・関心を高める。	各10組	6月15日（日） 7月12日（土） 8月30日（土）
5	昆虫標本を作ろう！ （実験・工作室）	身近にいる昆虫を使った標本を作ることを通して、昆虫を記録する方法について知る。	10組	6月22日（日）
6	植物標本を作ろう！ （実験・工作室）	標本作製の講義と演習を通して、身近な植物を記録する方法について知る。	10組	7月20日（日）
7	ハーブティーを 楽しもう！ （杉の家）	ハーブの育て方や楽しみ方を体験して、植物の利用方法や効能について理解する。	10人	10月12日（日）
8	野鳥の巣箱を作ろう！ （実験・工作室）	野鳥の巣箱を作ることを通して、野鳥の生態や森林保護の必要性を知る。	10組	11月2日（日）
9	ミツロウでオリジナルキャンドルを作ろう！ （実験・工作室）	ミツバチの巣から採ったミツロウを用いて、自分だけのオリジナルキャンドルを作ることで、自然の恵みを有効に活用する方法を知る。	10組	12月14日（日）
10	シイタケの種駒打ちを しよう！ （里山の楽校）	シイタケの種駒打ちを体験して、里山やキノコに対する理解を深める。	10組	2月8日（日）

(3) わくわく工作

大淀川流域の自然や文化を理解し、参加者の文化的活動を促進する機会を設けるために、四季の移ろいや大淀川流域の自然・文化をテーマに設定して、家族で楽しみながら創作を行うイベントを、毎月第1土曜日（4月～9月は午前、10月～3月は午後）を基本に、祝日や小・中学校の長期休業日に合わせて、年間16回開催する。

（他事業との日程調整において一部実施日時が変更になるものもある。）

(4) 季節のイベント

家族で大淀川流域の自然について学んだり、環境や文化に対して関心を寄せたりする機会を増やすために、楽しみながら季節を感じることができるイベントを開催する。

	イベント名	内 容	対象・定員	実施時期
夏	カブトムシの木登り大会 (学習室及び企画展示室)	飼育しているカブトムシを持ち寄り、木登りの速さを競う。	先着事前申込 32人	7月26日(土) 予備日8月2日(土)
夏	クワガタムシの すもう大会 (学習室及び企画展示室)	飼育しているクワガタムシを持ち寄り、すもうで競う。	先着事前申込 32人	7月27日(日) 予備日8月3日(日)
秋	河川や動植物に関する 講演会 (レクチャー室)	河川や動植物に関する専門家による講演会を行う。	先着50人	11月23日(日祝)
秋	【新規】 大淀川学習館マスターになろう!	日常は入ることのできないバックヤードの見学等を実施する。	事前申込 定員5名	11月30日(日)
冬	クリスマスコンサート in 大淀川学習館 (レクチャー室)	当館近隣の中学校の音楽系部活動と連携し、生き物の話等を交えたコンサートを行う。	先着80人	12月21日(日)
春 ～ 秋	どきどき体験 けん玉名人になろう! (実験・工作室 またはレクチャー室)	古くから親しまれる日本の伝統的な遊びである「けん玉」に親しむ。	各回40人	5月17日(土) 7月19日(土) 9月20日(土) 11月15日(土) 1月17日(土)

(5) 教室・イベント事業共通事項

(1)～(4)の教室やイベントを計画するに当たっては、関係行政機関や専門家、協会内の他館等との連携に努める。

5 広報事業

(1) 情報の発信及び提供

大淀川学習館の活動内容を周知し、主催事業への参加や見学に対する意欲を喚起するために、情報発信の工夫を行う。また、事業案内や調査研究の成果については、積極的な情報提供を行う。

No.	広報活動名	手 段
1	年間行事 カレンダー	校外学習での活用や休日の家族利用を促進するため、小・中学校や県内の公共施設に紙媒体を配布し、広報を行う。
2	月行事案内 企画展案内	社会教育施設間の回遊性を高めるために、月行事や企画展の案内チラシとポスターを配布する。
3	ホームページ	ニーズに応じた情報提供を行うために、インフォメーションと学習機能を兼ね備えたホームページを運営する。
4	ソーシャルネットワー キングサービス	公開する情報の即時性を高めるために、blogやFacebook、Instagramの定期的な更新に努める。
5	掲示板・案内板	来館時に情報を得ることができるようにするため、掲示板や案内看板の活用を図る。
6	マスメディア	展示生体の変化や特徴などについて、広く市民への理解を促し、自然環境への興味を喚起するために、マスメディアへの情報提供に努める。

6 自主事業

(1) 自動販売機等の設置

飲食物の提供や記念品の購入など、来館者のニーズに応じるために、自主事業を行う。

No.	自主事業名	内 容
1	飲料自動販売機	夏場の熱中症対策を含めて、利用者から飲料に対する要望があることから、飲料自動販売機を設置する。
2	カプセル自動販売機	特に観光で訪れた利用者からの要望が強く、記念品として企画展や展示生体と関連のあるカプセルトイの自動販売機を設置する。
3	移動販売車	施設周辺に商店や飲食店が少ないため、利用者から昼食や間食に適した軽食提供への要望が強く、宮崎フードイベントサポート協会の協力を得て、5月の大型連休期間から9月の土日祝日及び小・中学校の夏季休業期間は休館日を除く毎日、移動販売車を招聘する。

7 その他

SDGs 達成（環境教育）のための取組を行う。

① SDGs ロゴの活用

SDGs の普及、啓発のため、利用者や イベント参加者の目にふれるよう、右の SDGs ロゴを添付活用する。添付は、街頭看板、チラシ、ホームページ等に行い、できるだけ多くの方への啓発を図る。



② SDGs と各企画展・教室等の関連推進

自然環境保護等に関連がある企画展や各種教室事業等において、SDGs に関する話題を盛り込み入館者や参加者への啓発を行う。

(令和7年度の主な関連事業)

No.	企画展・イベント名	実施時期・期日
1	つかまえて、育ててみよう！身近な生き物展	4月22日(火)～6月1日(日)
2	身近な生き物と環境展	11月1日(土)～12月7日(日)
3	川の生き物で水質を調べよう！(春・夏・秋)	5月18日(日)、5月25日(日) 7月13日(日)、10月5日(日)
4	水を浄化してみよう！	8月9日(土)、8月10日(日)
5	河川や動植物に関する講演会	11月23日(日・祝)
6	大淀川や生き物に関する出前講座	依頼により通年実施

令和7年度 宮崎市民プラザ 事業計画書

1. 管理運営について

施設の管理運営にあたっては、指定管理者指定申請時の事業計画を着実に履行し、文化芸術基本法や宮崎市文化芸術基本条例、更には第三次宮崎市文化振興計画をはじめ、宮崎市総合計画等の市政方針との整合を図り、宮崎市との緊密な連携の下、設置目的に沿って施設・設備の機能を最大限に生かす管理運営に努める。

基本方針1：集い・学び・交流する活動を推進する管理運営

世代を超えた多様な活動によって市民が集い、学び、さらに多様な交流を生み出すため、「誰もが利用できる」から「利用したくなる」環境を整備していくことで、市民プラザの設置目的である「集い・学び・交流する」活動を推進する。

基本方針2：安心・安全で環境に配慮する管理運営

災害時・緊急時における必要な対策を講じ、訓練や研修により非常時に備え、危機管理体制に万全を期し、利用者の安全確保に努める。また、環境に配慮した省エネルギーやリサイクル、SDGsの達成に向けて持続可能な施設運営を目指す。

基本方針3：公平・公正な管理運営

宮崎市民プラザ条例及び同条例施行規則、使用料の減免に関する要綱等に則り、特定の個人や団体に対して有利あるいは不利になるような取り扱いをせず、偏りのない管理運営に努め、公平性・公正性を確保し、市民や利用者からの信頼を高める。

基本方針4：利用者の視点に立つ管理運営

利用者の視点に立ってご意見・ご要望等を管理運営に反映させ、利用しやすい環境整備に努める。また、利用者お一人お一人の人権を尊重し、相手の立場になり、個々の状態に応じた適切な手段でコミュニケーションをとる質の高い接遇に努める。

基本方針5：効率的かつ効果的な管理運営

業務の平準化・見える化を進めることで効率を上げるとともに、柔軟で効率的な人員配置、一括発注等によるコストの削減など、これまでのノウハウ等を最大限に活用し創意工夫することで、管理に係る経費の縮減等に努める。

2. 文化芸術企画事業について

地域の文化芸術資源などを反映させた多彩で独創性の高い事業を展開し、ボランティア等の活用にも努めるとともに、広報誌やホームページ・SNSでの配信も活用するなど、世代に沿ったPRの方法での確かな情報発信を行う。さらに事業実施後は、その成果を広く発信する。

(1) 鑑賞型事業

芸術性が高く、優れた舞台芸術公演等の事業を行う。企画・実施にあたっては、子どもから高齢者まで、障がい者や外国人、文化活動に参加することが少ない人などが文化芸術に触れられる機会を享受できるとともに、年齢や障がいの有無にかかわらず、より多くの市民が文化芸術公演を鑑賞できるよう様々な工夫により配慮する。

(2) 創造・参加型事業

地域の文化芸術団体等が自ら参加する舞台芸術公演等の事業を行う。企画・実施にあたっては、施設利用者等のニーズや社会情勢、関係団体や地域の文化芸術団体・アーティストなどと幅広く連携して実施する。

(3) 普及・育成型事業

市民、特に若い世代を対象にした、文化芸術の魅力を伝え体感するワークショップ等の事業を行う。企画・実施にあたっては、文化芸術団体や大学及び文化芸術関連分野（福祉、教育、まちづくり、産業、国際交流等）と連携し、文化芸術を体感できるようなものを実施する。

3. 自主事業について

自主財源の特定費用準備資金を活用し、オリジナル管弦楽団を結成しての市民参加型のコンサート。著名なアーティストの出演等により十分楽しんでいただけるような開館25周年を記念したコンサート事業に取り組む。

4. 事業の概要及び実施時期について

No	事業名	内容	実施時期
1	THE BACKSTAGE ～舞台裏体験ツアー～ 創造・参加型事業	普段は見ることや立ち入ることのできない舞台裏や調整室を見学し、設備操作等が体験できる小学生親子を対象としたオルブライトホールバックステージツアー。	8月16日（土）
2	市民プラザ寄席 志の輔・歌春二人会 鑑賞型事業	宮崎出身で落語家の桂歌春さんプロデュースによる落語公演。人気と実力を兼ね備えた落語家の立川志の輔さんを迎え、桂歌春さんとの二人会として開催。	11月23日 （日・祝）

3	【新規】 クリスマスコンサート 創造・参加型事業	宮崎を中心に活動・活躍しているアーティストや演奏家等の積極的な活用を図るとともに、市民が身近で気軽に音楽文化に触れる機会を提供する。	12月21日(日)
4	【新規】 開館25周年記念事業 オーケストラ・リクエストコンサート 自主事業	市民からのリクエストで演奏曲を決め、宮崎のオリジナル管弦楽団と著名なゲストアーティストで演奏するコンサート。クラシック以外に映画音楽やポップス・歌謡曲を演奏。	1月25日(日)
5	魅力ある企画の継続事業 市民プラザプロデュースシリーズ 自主事業	舞台芸術の振興を図る目的で、企画性に富んだ戯曲と演出を組み合わせた演劇公演をプロデュース。文化芸術の新たな魅力を発信し、若い世代にもアプローチする。	3月15日(日)
6	みやざきARTリーチ (アウトリーチ事業) 普及・育成事業	アーティストや演奏家を学校・地域へ派遣してコンサートやワークショップなどを行うアウトリーチ。学校のほか、障がい者や外国人を対象とし、幅広く文化芸術を届ける。	6月 8月 9月 10月
7	桂 歌春の落語教室 (アウトリーチ事業) 普及・育成事業	宮崎出身で落語家の桂歌春さんと、宮崎の小学生が交流する機会を創出し、古典芸能の落語を身近に感じてもらう出前講座。教育的効果と将来の観客育成を図る。	9月24日(水)
8	高校生のための 演劇技能発表会 (共催/宮崎県高等学校文化連盟) 創造・参加型事業	県内高等学校の演劇部が参加して行う発表会。高等学校総合文化祭に向けた技術力向上を目的に、演技や脚本創作、舞台技術の各講習を受講し、成果発表を行う。	7月10日(木) ～11日(金)

令和7年度公益財団法人宮崎文化振興協会事務局

事業計画書

基本方針

1 法人組織の円滑な運営

公益財団法人の円滑な運営のため、法や制度改正などを適切に処理し、評議員会・理事会などの法人組織の運営と関係機関・団体との連携及び調整に取り組む。

2 指定管理業務の円滑な推進

宮崎科学技術館、宮崎市歴史資料館（宮崎市生目の杜遊古館、宮崎市佐土原歴史資料館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館）、大淀川学習館、宮崎市民プラザの6施設の指定管理業務の円滑な推進のため、経営会議などを通して、市並びに各施設との密な連絡調整を図る。

3 円滑な人事管理

採用、異動、給与、福利厚生、研修など協会職員の人事管理を円滑に行う。特に職員の健康管理への対応並びに資質向上のための研修に取り組む。

4 協会の目的達成のために必要な事業の推進

協会の目的達成のため、機関誌発行、協会モニター、子どものための音楽会など協会全体として行うことが効果的な事業の推進に努める。

また、協会が管理運営する教育施設について、効果的な学習利用の推進を図る。

事業概要

1 法人の管理運営事業

協会組織の円滑な運営のため、定時評議員会（6月）、定例理事会（6・3月）のほか、必要に応じて臨時会を開催する。

指定管理業務の円滑な運営のため、市並びに各施設と密な連絡調整を行う。

法人の総務・人事・財政に係る業務を適正に行う。

2 研修事業

職員の資質向上と能力開発のため、管理職研修や係長研修、接遇研修、広報研修を実施する。

3 健康管理事業

職員の健康管理のため、産業医による健康相談、健康管理研修などを行う。

4 その他

理科授業に関し、授業づくりの助言や実験観察法の教授など、教員向けのサポートを行う。
協会全体として行うことが効果的な事業を行う。

経営戦略課主導事業

事業名	内容	実施時期
経営推進会議	協会の定款上の目的実現を踏まえ、物価高騰等の厳しい経営環境と時代の変化に対応するため、定期的な会議を通して職員の意思統一、情報共有、意見交換を行い、業務改善や収益増加、職員の育成とモチベーション向上を目指す。	通年 (開催数未定)
職員スキルアップ事業	職員の資質向上と能力開発のため、管理職研修や係長研修、接遇研修、広報研修などに取り組む。	通年
健康管理事業	職員の健康管理のため、定期健康診断のほか、産業医による健康相談、健康管理研修などを行う。	通年
理科の授業づくりサポート事業	宮崎市、国富町、綾町の小学校教諭を対象に要請のあった学校に出向いて、授業づくりへの助言や実験観察法の教授、出前授業等、理科授業全般への個別サポートを行う。	5月～2月
博学連携推進事業 教員のための博物館の日	博学連携の充実を図るために、学校の先生方に、博物館に親しみをもってもらうこと、博物館の学習資源を知ってもらうことをねらいに、「教員のための博物館の日」を開催する。	7月
ぶんしんきょうチャンネル	協会内の各施設のホームページ上に作成した「ぶんしんきょうチャンネル」に、動画コンテンツを定期的に配信し、各施設への来館意欲を高める。	4月～3月
学術・科学技術・文化・芸術振興のための研究事業	職員が日常業務の中で課題を見つけて、研究テーマを設定し、年間を通して課題解決に向けた研究を行うことで、職員の能力開発、資質向上を図る。 研究成果については、理事会や評議員会等において研究結果を発表するとともに、研究報告書としてまとめ、関係機関等に配付する。次年度以降の業務改善につなげるとともに、協会の定款に定められた学術及び科学技術、文化及び芸術の振興に寄与する。	通年
機関誌「まなぶんか」 発行事業	科学・歴史・自然・文化・教育等の視点による、トピックスや催事内容を詳しく紹介する協会機関誌を刊行することで、施設利用者増へ繋げる。 県内小中学校や県内市町村教育委員会、公民館等に加え、1市2町の小児科医院・県内図書館・博物館・公立文化施設にも配付する。	年2回
子どものための音楽会事業	乳幼児とその保護者に生の音楽を身近に感じてもらうことを目的に、各施設において乳幼児とその保護者を対象としたコンサートを実施する。	時期未定 (1回)
協会モニター事業	施設利用者の意見を施設運営や事業に反映させることを目的に、協会モニターを公募し、各施設のモニタリングを実施する。	通年